

■井上孝治 聾啞のアマチュア天才写真家として、晩年に、全国的・世界的反響を呼ぶ。ろうあ福祉にも尽力。

いのうえこうじ

♠**樹衣条約**・1919＝ 福岡市筈屋町で、明治初期に大阪堺から移住してきた桶樽製造業後継井上清一の長男に生まれる。

原敬首相暗殺1921＝ 2歳：

水平社結成・1922＝ 3歳：誤って階段から転落し、**聴力を失う。**

円本時代始・1926＝ 7歳：父の腕が名門小林酒造に見込まれて専属契約となり、宇美町に移住、これが契機となって、

金融恐慌・・1927＝ 8歳：福岡県立福岡盲啞学校(後聾学校)に入学。

共産党事件・1928＝ **9歳**：早くも父が新しい屋敷を新築するなど、井上家は指折りの資産家・地主となり、夭折した2人を除く、5人兄弟と裕福に育つとともに、**多趣味だった父が特に熱中していたカメラと雑誌「カメラ」に興味を持つ一方、教育熱心でもあった父から与えられた国語辞典「廣辭林」を読破するなどして素養も身につけて行く。**

満州事変・・1931＝12歳：

帝人疑獄事件1934＝15歳：小林酒造との関係が解消されると、父は桶樽製造を廃業し、東中洲で芸妓置屋・待合を開業する。

芥川直木賞始1935＝16歳：中等部に進み、**自分で写真を撮り始め**、登山に熱中し、福岡ではほとんどするものなかったスキーにも度々出かけるなどして、

健保+総動員 1938＝17歳：父が芸妓置屋はうまく行かずに廃業し、待合のみ続ける。

**日中戦争始**・1937＝**18歳**：卒業。兵役も免除で、**卒業祝いに、父からミノルタフレックスを贈られると、本格的に取組み始め**、

第二次大戦始1939＝20歳：結婚し、新居に住む。**「小西六写真工業の雑誌に「初冬」が初入選となって、のめりこむようになる。**

**日米開戦**・・1941＝22歳：うまく行かず、離婚。この年、カメラ雑誌が統廃合され、内容も軍国調になって行く。

・・・・・1942＝23歳：父が旅館業を始める。ミツエと再婚し、以後、生涯の伴侶となる。**「地元の写真クラブ」に入会**、

創価学会検挙1943＝24歳：戦時統制で、父の待合業も営業停止。**「クラブ会員とともに出征軍人家族の慰問撮影奉仕に携わる。**

年金+総武装 1944＝25歳：長男が誕生。

**敗戦**・・・・1945＝26歳：福岡大空襲で旅館・住居等全焼となるも、一族全員奇跡的に無事で、敗戦を迎える。

新憲法公布・1946＝**27歳**：父が新たに始めた旅館「梅の井」に住み、福岡公演に訪れる多くの有名芸能人が宿泊するなか、

新憲法施行・1947＝28歳：家具製作所で働いたかわら、**「写真材料店でアルバイトしてDPE技術を磨き**、

極東裁判決・1948＝29歳：次男二郎が誕生。

三大事件・・1949＝30歳：**「福岡フォトサロン」に入会、木村伊兵衛の作品に触れて傾倒し、田中雅夫の講演に感激し開眼。**

**朝鮮戦争始**・1950＝31歳：**「偶然から、志賀島の米軍基地内のPX写真部に採用され**、

**独立回復**・・1951＝32歳：父が肝硬変で死去。

以後、母は財産ねらう知人・親類に悩まされながら、旅館経営して行く。

テレビ放送始・1953＝34歳：**「ライカコピーのキャノンIVSbが発売されると、土地を一部売却までして購入し、愛用し始める。**

自衛隊発足・1954＝35歳：**「コンテストの最高峰(国際写真サロン)」に「雨の駅ホーム」が初入選**、

**55年体制始**・1955＝**36歳**：**「PX写真部を辞め、母らとも別れて、天神に妻と(井上カメラ店)を開業。繁盛して、軌道に乗り始めると、以後、店の経営は妻にまかせきりに、(福岡フォトサロン)を退会して、若手中心で意識の高い(玄海クラブ)に移り、集中的に傑作、「コンテスト荒し」の異名を得る一方、市井の人々のスナップを撮り続ける。**

なべ底不況・1957＝38歳：**「(玄海クラブ)が自然消滅すると、(筑紫写真クラブ)を創設する一方、福岡聾学校同窓会初代会長に就任。**

インスタント・1958＝39歳：**「(国際写真サロン)」に「川渡り祭り」が入選。基地関係で来日しDPEで店に出入りするようになったケーラムとの親交。この年、母が身内の不始末で、井上家の全財産を失い、一家離散となる。**

美智子妃・・1959＝40歳：**「ケーラムが帰米。単身で占領下沖縄へ渡り撮影旅行。ニコンFが発売されると早速購入し、以後、愛用。改組された(福岡県ろうあ福祉協会)の新会長に推されるなど、地元のろうあ運動で重責を担うようになり、**

**安保闘争**・・1960＝41歳：福岡県ろうあ会館を実現させ、

タイ病始・1961＝42歳：**「(筑紫写真クラブ)を解散し、**

全国総合計画1962＝43歳：**「(西日本ろうあ写真会)に発展させる。福岡で第十二回ろうあ者大会開催、**

東京リビック 1964＝**45歳**：**「(福岡県ろうあ福祉協会)会長を辞任。**

大学紛争始・1965＝46歳：この年、母が不遇のうちに死去。

いざなぎ景気1966＝47歳：さらに、**「全日本写真連盟西部支部加盟を実現させ、初代支部長となり、**

震ヶ関ビル・1968＝49歳：**「第一回全国ろうあ者大撮影会を主催。(国際写真サロン)に「サマースキー」が入選、**

全共闘・・・1969＝50歳：**「(国際写真サロン)に「雨の車窓」が入選、**

手話講座の講師としても活躍、

**日中国交回復**1972＝53歳：**「日本聾啞連盟から厚生文化賞を受賞し、NHKテレビに初出演。「放馬」まで(国際写真サロン)七回入選の偉業**

**石油ショック**1973＝**54歳**：**「何度か試験に落ちながらも、運転免許を取得可能になると、早速教習所に通い始め、**

クアンプール事件1975＝56歳：単身ツアーに参加し初の海外旅行でヨーロッパの街を撮影。この間、外出先で転んだ妻半身不自由に。

田中角栄逮捕1976＝57歳：**「全日本写真連盟から功労者表彰を受けた後、身体障害者として初の西部本部委員に就任したため、**

JALハイジャック・1977＝58歳：**「(全日本ろうあ写真連盟)はリーダーたる人材を失い、活動休止となる。**

・・・・・1981＝62歳：福岡市美術館で「創立十五周年福岡ローアフォト展」を開催。

**中曽根内閣**・1982＝**63歳**：

・・・・・1984＝65歳：再開発を機に、(井上カメラ店)を閉店。韓国・タイ旅行。

ジャボ機墜落1985＝66歳：エジプト・ギリシャ・トルコ旅行。

竹下登内閣・1987＝68歳：アメリカ・カナダ旅行。福岡を訪れたケーラムと再会。

昭和天皇没・1989＝70歳：**「福岡岩田屋年間キャンペーン企画「想い出の街」で、既に写真家となっていた長男一に声がかかってきたのが縁で、30代後半に撮りためたスナップが見出されて大反響、一躍時の人になり、写真集も全国的反響。**

**ドイツ統一**・・1990＝71歳：**「(パリ写真月間)に「想い出の街」出展。続いて、沖縄の報道写真家石川真生が3年かけて実現させた「大琉球写真帖」が縁で、40の時に撮影した写真の展覧会が開かれ、32年ぶりに沖縄訪問。大成功となって、**

**ソ連崩壊**・・1991＝**72歳**：**「写真集「あの頃」刊行。NHK教育テレビで特集番組。上京してアジア初の(世界ろう者会議)に参加。**

バブル崩壊・1992＝73歳：妻とフロリダツアーに参加し、ケーラム宅を訪問するなどしたが、肺がんとなり、

**55年体制終**・1993＝74歳：**「(アルル国際写真フェスティバル)に招聘されたが、没した。遺作展となり、名誉市民章を受ける。さらに、衝撃を受けたルメールが聴覚障害の写真家をテーマとした短編ドキュメンタリー映画を製作。**

黒岩比佐子「音のない記憶」、